

応急処置 | やけど

やけど

基本は、やけど後の十分な冷却です。面積が広範囲、薬品の場合は、医療機関での緊急処置が必要です。

【面積が小さい場合】

やけどの部分にきれいな水をゆっくり流しながら、痛みや熱さを感じなくなるまで、十分に冷やす。消毒ガーゼなどで軽くおおう。近くに水道水などがない場合は、清潔な冷水に十分浸したタオルなどをやけどした部位に当てる。



【面積が広範囲で重症の場合】

服が燃えるやけどの場合は、着たまの状態で水をゆっくりかける。衣服を脱がすときは、冷やした後にハサミなどでそっと切り開いて脱がせる。皮膚と癒着しているところは無理にはがさず、そのまま医師に診てもらおう。冷やしすぎには注意し、寒がるようであれば冷やすのをやめ清潔なガーゼやタオル・シーツなどでおおいかぶせる。



【薬品によるやけど】

化学薬品が体にかかって、皮膚がただれたような状態もやけどなので、すぐに薬品をしっかりと洗い流す。目に入った場合は、水道水で十分に洗眼した後、すみやかに眼科医の診療を受けてください。

